

令和8年度 学校経営計画書

岡山県立倉敷南高等学校

1 本校のミッション（使命、存在意義）

グローバル化に対応した学びを推進し、幅広い知識と教養を培う普通科高校として、個に応じた指導や、社会と自分の生き方を関連づけて考え、国際的な視野を広げる教育活動を通して、グローバル社会で活躍し、その発展に貢献する人材の育成を目指す。

2 学校教育目標

「自律・友愛・進取」の精神を実践し、グローバル社会で貢献・活躍できる人を育てる

3 現状分析

- 「進学重視型単位制」を活かし、生徒の学力伸長を図る少人数・習熟度別授業など個に応じた教育が行われている。
- 生徒の進路実現を図り、県下有数の国公立大学及び私立大学の合格実績を持つ。
- 地域と連携した学習活動、海外姉妹校交流を中心としたグローバル活動に積極的である。
- 倉敷市街地のすぐ南に位置し、教育環境・自然環境にも恵まれている。
- 保護者、同窓生、地域が協力的で、学校の教育活動を支援する気風がある。

- 素直で真面目な生徒が多いが、やや安定志向で受動的なところがある。
- 難関大学・学部にも果敢にチャレンジする高い志を醸成する必要がある。
- 中高一貫校、私立特進コース等に対抗できる本校の魅力を打ち出す必要がある。
- 業務適正化・負担軽減を進め、教職員の心身の健康維持を図る必要がある。

4 目指す学校像

【実現したい学校の姿】（令和3年度策定）

生徒一人一人が生き生きと学び、能力を最大限に伸ばす「魅力ある進学校」

- 1 カリキュラムマネジメントを進め、探究でつながる学びで未来創造力を育む。
- 2 個に応じた多様な学習指導を進化させ、個々の学力を最大限に伸ばす。
- 3 高い志を育む、系統的なキャリア教育計画に基づいた進路指導が充実している。
- 4 本物から学ぶ体験を通して、地域を考察させ、グローバルな視野を育成する。
- 5 文武両道を実践し、生徒一人一人の自律性と豊かなつながりを育む。
- 6 充実した高校生活を送れる、安心・安全で快適な学習環境がある。
- 7 学校から地域、地域から学校へと、双方向に開かれた学校が実現している。
- 8 教職員が協働して取り組める組織があり、PDCA サイクルが機能している。

5 令和8年度の重点目標

◎「 自主自律を貫きながら高め合う生徒の育成

～ 探究を続ける思考力・行動力の醸成 ～

- （1）学力向上と進路実現
- （2）高い人間力の育成
- （3）開かれた学校づくりの推進
- （4）教員のウェルビーイングの向上

の4つを柱に取り組む

6 具体的な取り組み

(1) 学力向上と進路実現

① 自律した学習者の育成	○夢の実現に向けて自走する学習習慣の確立 ○問いを立てる活動の定着と探究する機会の創出 ○「生徒と共に学ぶ」授業観の醸成 ○Classroom を利用してのテスト返却マニュアルの整備
② 進路実現につながるキャリア教育プログラム	○高い志を抱き、高め合う集団の形成 ○自律協働型学習者の育成 ○進路探究・課題探究を一繋ぎにしたキャリア観の醸成
③ 学力のすそ野づくり (非認知能力の育成)	○総合的な探究の時間の充実 ○課題解決能力・課題探究力の育成
④ DX ハイスクール事業を核とした「探究的な学び」の推進と「情報活用能力」の育成	○総合的な探究の時間等における「探究的な学び」の推進 ○「情報活用能力育成全体計画」に基づいた「情報活用能力」の育成 ○日常的な探究活動を推進するデジタル環境の整備

(2) 高い人間力の育成

①自己指導能力を高める生徒指導	○ピアサポート・縦割り活動の推進 ○美化意識の向上と主体的な環境づくり ○支援ネットワークの構築
②国際感覚を養うグローバル活動	○国際理解・国際交流の機会の充実と体系化 ○多様性の受容を基礎とした柔軟な思考力の育成 ○グローバル分野への志望促進，英語の学習意欲の喚起
③人権意識や規範意識、公共心等の育成	○互いを認め合い、安心・安全な居場所づくり ○主権者教育の推進 ○校内や学校周辺の環境美化活動の推進

(3) 開かれた学校づくりの推進

①信頼関係を築くための情報共有	○PTA 活動を軸とした保護者との信頼関係の構築 ○中学校・塾との連携強化のための広報活動 ○夏季・秋季オープンスクール，学校説明会の最適化 ○HP に加え，インスタグラムを活用した情報発信
②地域・関係機関等との連携強化	○課題探究・講演会等における外部人材・組織との連携 ○小・中との学校間連携による学びの充実

(4) 教員のウェルビーイングの向上

①効率的・効果的な学校運営	○PDCA サイクルに基づいた業務の精選・効率化・正確性の向上 ○課の再編検討 ○教育環境の充実と効率的な活用研究
②協働的な教職員組織	○職場の心理的安全性の向上 ○ミドルアップダウンの組織運営の推進 ○OJT の効果的な運用